

社会構築論系 共生社会論プログラム 現代共生理論ゼミ Can We Live Together? (定員 1学年15名)

講義要項内容： (1) Can We Live Together? を基本テーマにして、社会学を中心に経済学、政治学、サイバネティックス、統計学の知識と方法を習得しつつ、知的な討論を繰り返して、メンバー各位の固有の意見、理論をまとめていく。コンピュータを十分に使いこなすとともに、フィールド・ワークにも積極的に取り組んでいく。(2) その前半70分はreadingsとし新旧重要文献を読む。後半30分はresearch methodとfield workのための時間とする。毎回90分では絶対に終わらない。疲れたら、みんなでビールを飲みに行く。(3) 3年度生の目標は、2年生までに学んだ知識とスキルを確認しつつ、基本テーマについて各自の研究成果をまとめていくこと、4年度生の目標は、1年間行ってきた研究成果を英語でプレゼンテーションをして、議論をすることにおき、最終成果としてゼミ論文を仕

実験実習費等費用について： 年間3回ほど合宿を予定している。合宿ならびにコンパは個人負担。合宿については、大学セミナーハウスを利用し、JR団体割引料金を利用するので、概ね2泊3日1回13,000円前後となる。

SS：			
月	日	課題 1	課題 2
		「環境と社会」をテーマにして、20世紀の日本と世界について考えていく。	
4	7	自己紹介とゼミの進め方について	グループの方針について報告
	14	「環境と技術」『社会学』第8章	
	21	「環境問題の社会的研究」『環境社会学』第1巻 第2章	「環境共存へのアプローチ」『環境社会学』第1巻 3章
	28	「巨大都市化の発展類型と地域」『講座社会学4 都市』第2章	「巨大都市化の発展類型と地域」『講座社会学4 都市』
5	5	休日	
	12	「水俣病の歴史」『水俣学講義』第2回	「チッソの企業体質と技術」『水俣学講義』第3回
	19	「「京都議定書」後10年をどう評価するか? についてのグループ研究の方針」	合宿報告進捗状況 (1)
	26	「「京都議定書」後10年をどう評価するか? についてのグループ研究の方針」	合宿報告進捗状況 (2)
6	2	「私たちの価値基準」『未来は緑 ドイツ緑の党 新綱領』序「エコロジーの時代に向けて」『未来は緑 ドイツ緑の党 新綱領』序	合宿報告進捗状況 (3)
	9	「エコロジカルで公正な市場経済に向けて」『未来は緑 ドイツ緑の党 新綱領』序「開かれた社会政策に向けて」『未来は緑 ドイツ緑の党 新綱領』序	合宿報告進捗状況 (4)
	16	合宿の準備作業	合宿の準備作業
		ブレ合宿	
	23	課題2 議論テーマ「公害の原点<水俣病>」についてまとめ、分析、議論 課題1との関係で、戦後日本の環境問題の原点としての水俣病について分析報告を行い議論をする。	70分×2
	30	合宿の準備作業	合宿の準備作業
7	3	合宿(7/3-5) 夏合宿(2泊3日) 軽井沢セミナーハウス	
		課題1 「京都議定書」後10年をどう評価するか?	70分×3
		1. 「京都議定書」までの歴史的事実 2. その後の問題 3. 今後について	
		課題3 テーマ「未来は緑」について分析報告と	70分×2
		ドイツ、緑の党の綱領とその解説について、各グループで読み分析し、報告を行い、日本における環境問題と政治の関係について議論をする。Part 1. ドイツの事実、Part 2. 日本の事実	
		課題4 4年生 卒業論文報告	20分×15
		各自の夏レポートの方向性について報告	
		課題5 3年生 各自の課題(おもいつき) 開陳	60分×1
		これから行っていく各自の課題について報告	
	7	プロシーディングスの制作	
	14	プロシーディングスの制作	
	21	プロシーディングスの制作	
	28	批評会	
8		ゼミについては忘れ、自分たちのことをする。	
9		ゼミについては忘れ、自分たちのことをする。	

Anthony Gideens, *The Politics of Climate Change*, 2009, 2, 3, 4を通読していく。(各回読を進めていく)。

WS

		課題A	課題B	課題C
		「日本の経済社会はどこへ行くのか？」というテーマで、各 回グループによる文献精読と、合宿でのグループ報告を行 う。	「2011年の東京都知事選 挙について」というテーマ で、実施中のパネル調査の分 析を進めていく。	未定
9	29	テーマ1「企業としての<トヨタ自動車>」、その歴史、機 能、将来について、テーマ2『プロテスタンティズムの倫理 と資本主義の精神』について議論する	調査概要の説明	
10	6	社構会 催し	グループ作業	
	13	村上泰亮『新中間大衆の時代』中央公論社 1984年から、 「Ⅰ戦後日本の経済システム」	グループ作業	
	20	森川英正・米倉誠一郎『日本経営史5 高度経済成長を超え て』岩波書店 1995年から、「1. 概説1955年から90	グループ作業	
	27	同上「4. 戦後日本の金融システム」	グループ作業	
11	3	休日	グループ作業	
	10	同上「7. 共同幻想としての日本型システムの出現と終焉」	グループ作業	
	17	アンソニー・ギデンズ『日本の新たな第三の道』ダイヤモンド 社 2009年から、「<第三の道>と日本の選択」	分析結果報告と方針	
	24	グループ研究	分析結果報告と方針	
12	1	グループ研究	グループ作業	
	8	グループ研究	グループ作業	
	15	グループ研究	グループ作業	
合宿（12/18-20）冬合宿（2泊3日） 川奈セミナーハウス				
		課題1 「企業としての<トヨタ自動車>」	45分×4	
		・グループごとのテーマ報告		
		課題2 「日本の経済社会はどこへ行くのか？」	30分×4	
		・グループごとのテーマ報告		
		課題3 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』について議論する	45分×4	
		・グループごとのテーマ報告		
		課題4 2011年の東京都知事選挙について予測する	30分×4	
		・グループごとのテーマ報告		
		課題5 3年生「ゼミ論文」構想発表会 4年生「ゼミ論文」お疲れ様会 各自の構想について報告をする。	5分×30	
1	5	新年会		
	12	プロシーディングスの制作		
	19	プロシーディングスの制作		
	26	プロシーディングスの制作		
2	2	批評会		
3		ゼミについては忘れ、自分たちのことをする。		